

第1回学校運営協議会議事録

校名	府立東百舌鳥高等学校
校長名	青木 浩子

開催日時	令和3年6月16日(水) 15:00 ~ 17:00
開催場所	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 会議室
出席者(委員)	伊井直比呂 会長、梶山尚也 副会長(書面による参加) 藺 彰久 委員、西村和彦 委員(書面による参加)、小仲久雄 委員
出席者(学校)	青木浩子 校長、夏川照章 教頭、山口俊也 事務長、西川英志 首席、 福島洋平 首席、郡山鷹子 指導教諭、中尾直美、川瀬 岳、本山三紗子、藤 木 徹、宮本晋一、伊田清悟
傍聴者	0名
協議資料	令和3年度 学校経営計画及び学校評価、令和3年度 学校教育計画(案)、令 和3年度 学校教育目標の自己評価票(案)
備考	

議題等(次第順)

- ・学校運営協議会会長・副会長の選出 ・校長挨拶 ・学校運営協議会会長挨拶
- ・学校運営協議会委員及び事務局関係者自己紹介
- ・協議 (1)令和3年度 学校経営計画について (2)令和3年度 学校教育計画(案)について
(3)令和2年度 学校教育目標の自己評価票(案)について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・各議題について関わる分掌・学年より報告・説明。報告・説明ごとに協議に入る。
- 質疑
- ・(教務部の取り組みである観点別評価について)観点別評価とは何か？
⇒新学習指導要領より取り入れられた「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点の学習状況を生徒の取り組みによってそれぞれ評価する方法
- ・(教務部の取り組みである教員による相互授業見学について)教員の参加状況はどうか？
⇒ほぼ全員が2回(自教科1回、2回)実施。教員に対するフィードバックを最小限にすることで確実に実施できている。
- ・(教務部の取り組みである学習サポート、ひがも塾について)昨年度はコロナウイルス感染防止の観点から中止になることが多かったが、今年度はどうか？
⇒緊急事態宣言が解除され次第、府立大学にて、サポーターを募集。学年単位で考査前に実施している。
- ・(進路指導部の取り組みである進路ワークBookについて)進路ワークBookとは何か？
⇒東百舌鳥高校におけるキャリアパスポートに当たるもの。生徒が3年間の進路学習について書き残すことで、自らの進路について主体的に考える材料となる。
- ・英検受験者への具体的な指導はしているか？
⇒英語科を中心に講習を実施
- ・(行事活動部の部活動活発化について)昨年度は文科系の部活の所属者数の減少が大きかったが、生徒が主体となり新しい部活動の創設などができないか？
⇒生徒の主体的活動については喜ぶところではあるが、教員数に限界があり、現状の部活数を維持することが難しい。
- ・部活動加入率増加のために何か方策がありますか？
⇒体験入部を推奨する部活動ウェルカムウィークを緊急事態宣言解除後に実施。昼休みに各部活動の部長による部活動紹介を実施する
- (保健部の活動について)コロナウイルス感染拡大防止の試みは何かあるか？
⇒昼食時の放送での注意、教員による巡回、検温設備の充実、手指消毒の徹底等、感染拡大防止に努めている。

●質疑(続き)

・生徒のマスクの着用はできているか？

⇒体育の授業時間とその直後、昼食時など特別な場合を除いて、ほぼ100%と言って良い状態。

・(総務部のICT活用について)昨年度もWiFiが繋がらないことが多く、GIGAスクールの計画により新しい機器が取り付けられたが現在はどうか？

⇒旧来のWiFiは現在も不安定。新しい機器はつながりやすいが教室のみであるため、授業等の準備ができない。

・(総務部のWebページの充実について)東百舌鳥の活動を広めるためにホームページの充実をしてはどうか？

⇒今年度、ホームページをリニューアルする。

・(プランニング会議の長期欠席者のライブ授業について)長期欠席者の実施状況はどうか？

⇒コロナウイルスの濃厚接触者の特定を受けた生徒等を中心に実施。オンラインで課題も配信。

・ライブ授業をすると、教室にいる他の生徒が写ってしまうがどうしているのか？

⇒事前に保護者の方にライブ授業について連絡をした上で長期欠席をしている生徒の学力保障を優先。もしも、無断の録画等があった場合は写真の無断使用等と同じように指導する。ライブ授業を実施することで、濃厚接触者になっても学習が保障されているという環境の方が利点が多いと考えている。

・(昨年度、3年生が実施した探究学習について)探究学習をしたことは有益な成果につながっているか？

⇒生徒の表現力が確実に上がっている。大学・短大の総合型選抜、専門学校のAO入試に期待できる。

●ご意見・ご感想

・探究学習のテーマとなっているSDGsについては中学校でも話題になっており、教員で研修をしている。

・コロナウイルスの濃厚接触者等に対するいじめなどに気を配ってほしい。

・様々な学校でICTによる教育活動を取り入れることに苦慮をしているようであるが、東百舌鳥高校はこれまで培ってきたICT活用があるので、生徒への支援は十分に行われていると思う。

・学校生活を仲間とともに過ごし、目標達成に向けて相互に支えあう関係を構築していくことが、将来の財産になると思う。「総合的な探究の時間」「学びに向かう探究学習」は、これを積極的に活用することで、生徒の自発的活動、国際・地域貢献の意識づけを通して社会人へのステップを歩んでいくことを支援している計画であると言える。

・数年前の運営協議会ではICTをどのように活用するかという説明を受けてきたが、現在の東百舌鳥高校は完全に定着し、教育に必要な要素として、当たり前に使うことができている。工夫された新しい試みが常にある。

・部活動について、少しでも良くなるように取り組んでいると思う。

次回の会議日程

日時	令和3年11月10日(水) 15:00 ~ 17:00
会場	大阪府立東百舌鳥高等学校 1階 校長室